

ルミスパンス™ FS

種子処理用殺虫剤

● 抵抗性ウンカ類にも優れた効果を発揮

有効成分ピラキサルトが3種類のウンカに優れた防除効果を発揮し、既存薬剤に抵抗性を獲得したウンカ類にも有効です。

● 防除効果が最大90日程度持続

稲の苗をムラなく均一にウンカ類の被害から守り、最大で90日程度(移植の場合は移植後、直播の場合は播種後)効果が持続します。

● 農閑期に短時間で薬剤処理を終えることができる

種もみが届いてすぐに薬剤処理が可能です。
1ha分の種もみ(一般的には30kg程度)を約5分で処理することができます。



ウンカ対策は、
種子からはじめる時代へ。



種子処理用殺虫剤

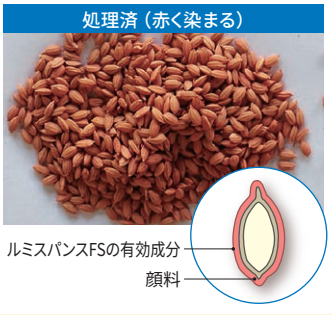
適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリフルメゾピリムを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ	乾燥種もみ 1kg当り 原液 7～9mℓ	は種前 (浸種前)	1回	種子吹き付け処理 または塗抹処理	1回
直播水稻			は種前			

■種子処理剤の使用手順



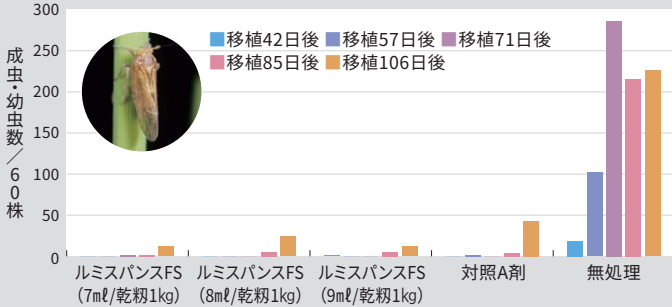
ルミスパンスFSが 処理された種もみのイメージ



上手な使い方

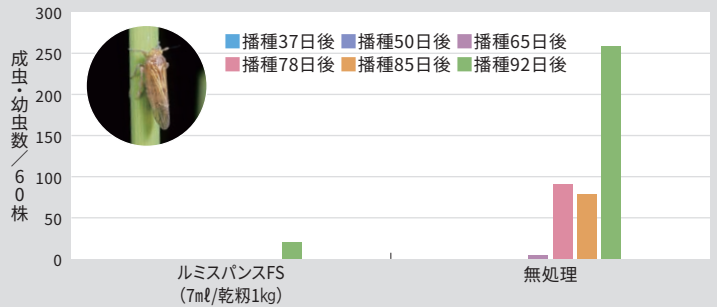
- 使用前に容器を良く振る。
- 乾籾1kgに対し、薬液と水の合計が30mℓになるよう調製する。
- 種子消毒や芽出しを目的とした浸漬・浸種期間中の水交換は3回までとする。かけ流しは避ける。

トビロウンカに対する試験成績(移植水稻)



【試験概要】 2020年 宮崎県総合農業試験場 ●品種：まいひかり(播種：6月1日、移植：6月17日) ●処理日：ルミスパンスFS 5月23日(浸種前日)、対照薬剤 6月1日 ●処理方法：ルミスパンスFS 浸種前塗抹処理、対照薬剤 播種時覆土前処理(50g/箱) ●調査方法：各区20株×3反復について成虫・幼虫数を調査した ●害虫発生状況：多発生

トビロウンカに対する試験成績(直播水稻)



【試験概要】 2022年 佐賀県農業試験研究センター ●品種：さがびより(播種：6月14日) ●処理日：6月8日 ●処理方法：5月16～18日に浸種、催芽確認後、風乾し冷蔵保管した種籾を塗抹処理。処理直後に種子量の1/3量のベンガラモリブデン処理を行った ●調査方法：各区20株×3地点について成虫・幼虫数を調査した ●害虫発生状況：中発生

使用上の注意事項

- 使用前に容器をよく振ってください。
- 薬剤が種子に均一に付着するように処理してください。
- 本剤で処理した種もみは食料や飼料として用いないでください。
- 使用残液及び容器の洗浄水等は河川等に流さず適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 使用の際は不浸透性手袋などを着用してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は、ほ場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

製造

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社

〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号

山王パークタワー

<https://www.corteva.jp/>



取扱

本資料は2024年2月現在の知見に基づき、作成されています。